

記入例

提出日 平成27年4月15日

入所申込書

施設に入所したいので、次のとおり申し込みます。

同意欄
施設入所の円滑化に資するため、入所判定及び入所申込者の状況把握に必要な範囲に限り、当該施設が広島県・保険者市町・担当ケアマネジャー等に対し、入所申込書及び添付書類に記載の個人情報を提供し、また広島県・保険者市町・担当ケアマネジャー等が、当該施設に対して、入所判定に必要な個人情報を提供することに同意します。
平成27年4月15日 氏名 介護 太郎 印

申請者(連絡先)
〒0000-XXXX 住所
〇〇市△△町□□二丁目2番2号
氏名 介護 次郎
電話 〇〇〇(△△△)XXXX
携帯 〇〇〇(△△△)□□□□
入所申込者との関係 子

入所申込者の状況
フリガナ カイゴ タロウ 性別 保険者 〇〇市
氏名 介護 太郎 印 (男)・女 被保険者番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
生年月日 明・大(昭)〇年〇月〇〇日 要介護状態区分 要介護(1・(2)・3・4・5)
現住所 〒0000-XXXX 〇〇市△△町□□一丁目1番1号 要介護認定有効期間 平成〇〇年〇月〇日から平成XX年X月X日まで
状況
□自宅で一人で暮らしている ■自宅で家族と暮らしている
□老健などの施設や病院に入っている(入所、入院中の方は下記項目にご記入ください)
※施設名または病院名:
※所在地:
※入所又は入院時期:平成 年 月頃から
住環境
□車いすを使用しているが、住居の廊下等の構造が適していないため、介護が困難
■住居の便所、浴室、階段等の形態や構造が適していないため、介護が困難
□その他()
特例入所の理由
[要介護1又は2の入所申込者のみ記入]
※施設以外での生活が著しく困難な理由を記載(認知症・知的障害・精神障害等、単身世帯・同居家族が高齢等により、施設以外では生活が困難な状態であることがわかるように)
認知症により、食事を勝手に出して食べたり、勝手に外に出て行ってしまったりなど、常時見守りが必要な状態であり、日常生活に支障を来している。
入所希望時期
■今すぐ入所したい
□平成 年 月頃(まで・以降)に入所したい
医療の状況
□経管栄養 □胃ろう □中心静脈栄養(IVH) □インシュリン注射 □じょく瘡(床ずれ)
□在宅酸素 □バルーンカテーテル □人工肛門 □人工膀胱 □その他()
特養申請状況
□当該施設のための申請
■他の施設にも申請している(申請している施設名:特別養護老人ホームXX園)

主介護者
フリガナ カイゴ ハナコ 性別 入所申込者との関係
氏名 介護 花子 男・(女) 生年月日 明・大(昭)・平 △年△月△△日
同居有無 ■同居 □別居(□同一市内 □県内市外 □県外) □その他()

その他の介護者
氏名 介護 次郎 年齢 〇〇 □同居 ■別居(■同一市内 □県内市外 □県外) 入所申込者との関係 子
氏名 年齢 □同居 □別居(□同一市内 □県内市外 □県外) 入所申込者との関係
氏名 年齢 □同居 □別居(□同一市内 □県内市外 □県外) 入所申込者との関係
氏名 年齢 □同居 □別居(□同一市内 □県内市外 □県外) 入所申込者との関係
氏名 年齢 □同居 □別居(□同一市内 □県内市外 □県外) 入所申込者との関係
氏名 年齢 □同居 □別居(□同一市内 □県内市外 □県外) 入所申込者との関係

入所の必要性	<p>【自由記述】</p> <p>〔※本人の在宅生活が困難な理由（本人の状況や、家族等による介護が困難な状況等を具体的に記載）〕</p> <p>夫婦のみの世帯であり、入所申込者は認知症により、常時見守りがないと、勝手に冷蔵庫を開けて食材を食べたり、いつの間にか外に出て行ってしまふなど、在宅生活が困難な状況である。</p> <p>また、妻も病弱であり、体の調子がすぐれないことが頻繁にあるため、介護することが難しい。</p>	
	備考	<p>担当ケアマネジャー</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> いる ※事業所名（ 居宅介護支援事業所〇〇 ）名前（ 〇〇 〇〇 ）</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p>

<p>【施設記入欄】</p>

<p>お願い</p>
<p>入所申込者の要介護度や転居による住所変更など、本入所申込書に記載した事項等に変更があった場合、死亡された場合、あるいは他の特別養護老人ホーム等に入所された場合は、必ず当施設に連絡してください。</p> <p>連絡がいただけない場合は、入所決定を行えないことがあります。</p>